自転車の「走」づくりへの挑戦 ― 改正道路法を踏まえて

自転車交通計画のハードとソフト

―道路・交通管理とまちづくりの連携

～日本の自転車法制度の特徴と自治体施策、海外事例の検証～

◆日本的な自転車行政の歩みから新しい方向性をどう拓くか

◆道路管理者のパラダイムシフト―歩道通行の不合理性を解く

◆自転車安全利用条例にみる自転車通行空間整備の推進方策

>>> 講師

元田　良孝 氏／岩手県立大学 総合政策学部教授

開催日時：２０１５年７月２８日(火) 13:00～16:45

>>> プロフィール

1975 年建設省入省。建設省土木研究所道路部交通安全研究室長、和歌山県土木部道路建設課長、近畿地方建設局大阪国道工事事務所長等を歴任し現在に至る。その他、社会資本整備審議会道路分科会道路技術小委員会専門委員、岩手県都市計画審議会会長、土木学会自転車政策研究小委員会副代表、交通工学研究会自転車通行を考慮した交差点設計の手引き小委員会委員等で活動。

13:00 ～ (休憩) ～ 16:45

1．自転車交通問題の現状と課題
（1）自転車交通の現状
（2）交通事故の状況
（3）駐輪問題

2．自転車交通に関する法制度
（1）道路交通法
（2）自転車の駐輪に関する法律
（3）自転車のインフラ整備に関する法律
（4）自治体の自転車安全利用条例
（5）自転車の法制度の特徴と課題、展望
―なぜ改正道路法が出てきたのか

3．交通インフラの問題とガイドライン
（1）自転車交通インフラの歴史
（2）歩道通行制度の不合理と道路管理者の考えの遅れ
（3）ガイドライン

4．これからの自治体自転車政策
（1）自転車利活用戦略
（2）ネットワーク計画の策定
（3）自治体条例の今後

5．自転車行政に関する海外事例紹介

6．質疑応答

地域存在のシンボル・公共交通を「みんなで、まとまり、つくりあげる」ために―

新制度「地域公共交通網形成計画」策定への取組み手法

～地域ニーズの把握と行政・事業者・住民のコラボ、そして政策形成の方策を探る～

◆人口減少・高齢化の進展―地域公共交通の再編戦略

◆まちづくりを支える道具・公共交通をいかにつくり、持続させるか

◆地域交通再編・拠点設定と地域公共交通網形成計画の策定

>>> 講師

大井 尚司 氏／大分大学経済学部経営システム学科准教授

開催日時：２０１５年７月２９日(水) 13:00～16:45

>>> プロフィール

神戸大学大学院経営学研究科博士課程修了［博士(経営学)］。(財)運輸政策研究機構運輸政策研究所研究員を経て、2009年４月に大分大学経済学部経営システム学科准教授に着任、現在に至る。専門は交通経済学、観光経済学、公企業論。大分県内自治体の地域公共交通会議、九州運輸局地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会などへ参画している。「地域と交通をサポートするネットワークin Kyushu(Qサポネット)」を2010年から運営。著書に『交通政策入門』(共著・同文舘出版、2011年)等。

13:00 ～ (休憩) ～ 16:45

1．いま、なぜ地域公共交通を考えるべきか
（1）人口減少による需要の低下と高齢化の進展への対応
（2）公共交通の現状
―バス・タクシー・地方鉄道の経営状況と問題
（3）交通政策基本法制定の意義

2．地域公共交通を活性化させる意味とは
（1）「まちづくり」を支える道具・公共交通
―いかに「おでかけ」をつくるか
（2）「まち」の将来を持続可能にする交通の機能
（3）「地域」の存在のシンボル

3．地域公共交通網形成計画の策定
～「みんなで、まとまり、つくりあげる」ことの必要性と意義～
（1）地域公共交通網形成計画の考え方と自治体の役割
（2）事業者・地域住民・自治体の連携
（3）地域交通再編のあり方―「人」「モード」の適材適所
（4）地域ニーズの把握と目的に合わせた拠点設定
―地域公共交通網形成に向けて

4．今後の課題と方向性

5．質疑応答

会場(両日)>>>

日本教育会館・会議室（案内図は申込後送付）

東京都千代田区一ツ橋２－６－２　TEL 03－3230－2831

■申込方法

下部の申込書に所要事項を記入の上送付下さい(FAX・郵送・メール等)。

※当日参加で申込後にご都合が悪く欠席される場合にはメディア参加とさせていただきます。

■参加費(1名分)

	当日参加	メディア参加
行政・議員	15,000円	18,000円
一　般	25,000円	28,000円

※メディア参加申込の方へは研修会終了後にCD(講演音声収録)と資料及び請求書をお送り致します。

■支払方法

請求後の振込(銀行振込・郵便振替)

・現金書留・当日払い

みずほ銀行麹町支店　普通1159880

三井住友銀行麹町支店　普通7411658

三菱東京UFJ銀行神田支店　普通5829767

郵便振替:00110-8-81660

口座名:㈱地域科学研究会

お申し込み・お問い合わせ

あすの街と村を考える 地域科学研究会

東京都千代田区一番町6-4ライオンズ第2-106
TEL 03(3234)1231　FAX 03(3234)4993
URL：http://www.chiikikagaku-k.co.jp/

【申込書 2015年　月　日】　希望欄に印を入れて下さい　FAX：03(3234)4993　MAIL：machi@chiikikagaku-k.co.jp

■研修会の参加
■『自転車交通計画のハードとソフト』　：□当日参加　□メディア参加
■『新制度「地域公共交通網形成計画」策定への取組み手法』　：□当日参加　□メディア参加

■出版物の購入
□『デマンド交通とタクシー活用』　＿＿＿冊　□『交通権(移動権)の保障制度』　＿＿＿冊
□『自転車交通の計画とデザイン』　＿＿＿冊　□『京都市自転車安心安全条例』　＿＿＿冊

勤務先　所在地〒　連絡担当者

TEL　FAX　E-mail

参加者氏名　所属部課役職名

〈通信欄〉○をつけてください
・支払方法（銀行振込・郵便振替・当日払い・現金書留）
・必要書類(納品書・請求書・見積書・領収書)

※ご記入いただいた個人情報は当会の活動(セミナー・出版物等の申込受付,連絡,請求,案内等)のみに使用させていただきます。　請求書等宛名

急増する 通院・買物・通学(高校)難民 のための
喫緊の交通サービス ―

デマンド交通とタクシー活用

―その計画策定と運行と評価

～ブームに流されず、地域の実状に合った交通をつくるために～

著者：鈴木 文彦 ／交通ジャーナリスト

◎本書を推薦します
太田 勝敏 東京大学名誉教授・（公財）豊田都市交通研究所所長
中村 文彦 横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院長・教授

■体 裁：Ｂ５判／160頁
■発 刊：2013年３月15日
■定 価：5,119円（税・送料込）（本体：4,740円）
■参加者特価：4,700円（税・送料込）

［本書の特徴］
◎全国で地域生活交通の検討に携わる著者が紐解く「デマンド交通40年」の歴史と約200の事例の評価(豊富な図表・写真・資料等で解説)

第1章　デマンド交通の特性と導入事例増加の背景
1．デマンド交通～その歩みと特性～
2．地域公共交通の維持・活性化の視点から見る デマンド交通とその位置づけ
3．デマンド交通導入事例増加の背景

第2章　デマンド交通「ブーム」の落とし穴と デマンド交通の特性・適性
1．デマンド交通の落とし穴
2．デマンド交通の特性・適正と課題 ～本当にデマンド交通が必要とされているのか～

第3章　デマンド交通とネットワーク構築、事業採算と事業者参画
1．交通ネットワーク構築上の役割 ～デマンド交通と路線バス、タクシー、ＳＴＳとの機能分担
2．デマンド交通の事業採算のあり方と運行事業者の参画

第4章　タクシー活用戦略とデマンド交通の近未来
1．どんなロケーションにどのようなデマンド交通が効果的なのか
2．タクシーは究極のデマンド交通 ～一般タクシーを活用した生活交通確保への挑戦～
3．超高齢化・人口減少社会におけるデマンド交通の近未来像

第5章［Q&A］　講師と参加者によるネクストステージへの模索

まちづくり資料シリーズ36―②

福岡市：交通政策基本法を先駆けた生活交通条例の制定 ―市民生活の足の確保施策

交通権（移動権）の保障制度

～議員提案&政策条例―理念・意義・仕組・設計～

■体裁：Ｂ５判／164頁
■発刊：2010年10月
■定価：3,780円（税込，送料350円）（本体：3,500円）
■参加者特価：3,500円（税込，送料込）

【執筆陣】
福留　久大／九州大学名誉教授
栃木　義博／福岡市議会議員
寺島　浩幸／前．福岡市議会事務局調査法制課
鈴木　文彦／交通ジャーナリスト

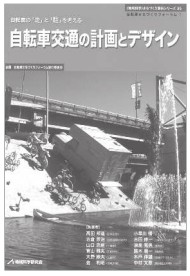
序章 生活交通の公共的確保ー福岡市生活交通条例の意義　福留久大

1章 生活交通条例ができるまで
1章－1　議会による条例制定の背景とねらい、交通基本法への期待 ～議会・行政・市民・事業者の一体的な取組みの推進に向けて～　栃木義博
1章－2「公共交通空白地等及び移動制約者に係る生活交通の確保に関する条例」について～主に政策法務的視点から～　寺島浩幸

2章 これからの地域公共交通
2章－1　交通サービスをどう確保するか～地域生活交通確保に向けた自治体の取組みにみる課題と可能性～　鈴木文彦
2章－2　行政・議会として生活交通確保にどう取り組むか　地域科学研究会／緑川冨美雄

3章［パネル討論］持続性のある地域公共交通の確保に向けて
栃木義博／寺島浩幸／鈴木文彦／緑川冨美雄（進行）

4章 想定問答：福岡市生活交通条例案



自転車交通の計画とデザイン

■企画：自転車まちづくりフォーラム実行委員会
■発刊：2009年7月　■体裁：A4版/152頁
■定価：5,142円（税・送料込）（本体：4,762円）
■参加者特価：4,700円（税・送料込）

【執筆者】
古倉 宗治 ㈱住信基礎研究所研究理事
山口 忠嗣 三鷹市都市交通担当課長
青山 雅夫 世田谷区土木計画課長
大野 練夫 三郷市収税課長
金　利昭 茨城大学工学部教授
小早川 悟 日本大学理工学部准教授
吉田 伸一 交通事故総合分析センター
原島 克典 豊島区交通安全課長
露木 順一 開成町町長（神奈川）
高田 邦道 日本大学理工学部教授
木戸 伴雄 交通アナリスト
中村 文彦 横浜国立大学大学院教授

第１編　自転車交通の計画とデザイン
1 自転車と自動車の共用による安全走行空間の確保の方策　古倉 宗治
2 自転車と共生するまちづくり　山口 忠嗣
3 自転車走行空間のネットワーク化を目指して　青山 雅夫
4 自転車の利用促進に向けた取組み　大野 練夫

第２編　自転車の利用空間
1 自転車利用空間とコンパティビリティ　金　利昭
2 自転車走行空間ネットワーク構築の考え方　小早川 悟
3 自転車事故発生の傾向と特徴　吉田 伸一
4「自転車等の利用と駐輪に関する総合計画」の策定とその効果　原島 克典
5 自転車の街づくりをめざして　露木 順一

第３編　自転車の「走」と「駐」を考える
1〔問題提起〕自転車の「走」と「駐」をめぐる諸問題　高田 邦道
2〔パネル〕自転車まちづくりの過去と現在、そして今後の展開
コーディネーター：高田邦道　パネリスト：金利昭/小早川悟/吉田伸一/原島克典/大野練夫/露木順一

自転車まちづくりフォーラム実行委員会
1 自転車走行空間の交通運用形態とその道路構造　木戸 伴雄
2 都市交通戦略の中で自転車とバスを共存そして連携させていくための課題　中村 文彦

京都市自転車安心安全条例

～制定の目的・手法・プロセスと議員提案政策条例の実証～

■発刊：2011年12月20日
■体裁：Ｂ５判／138頁
■定価：3,780円（税込・送料350円）（本体：3,500円）
■参加者特価：3,500円（税込・送料込）

【執筆】
吉田 孝雄（京都市会議員）

◎市民の交通安全を担う条例をどう制定するか
第１章 条例制定の背景
第２章 条例制定のプロセス ～商店街聞取り調査とパブリックコメントの実施～
第３章 議会～準備と論戦
第４章 京都市自転車安心安全条例 ～条例の制定目的、ポイント、構成～
第５章 議員提案政策条例の制定意義
第６章 自転車安心安全条例制定後の動き
第７章 京都市自転車安心安全条例案「想定問答集」

お申し込み・お問い合わせ
あすの街と村を考える 地域科学研究会
東京都千代田区一番町6-4ライオンズ第2-106
TEL 03(3234)1231　FAX 03(3234)4993
URL：http://www.chiikikagaku-k.co.jp/